

2019年2月13日

各位

会社名 フ リ ュ ー 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 三 嶋 隆
(コード番号：6238 東証第一部)
問合せ先 管理本部 財務経理部 部長 藤村 卓
(TEL. 03-5728-1761)

業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2018年5月14日に公表しました2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正するとともに、2019年3月期第3四半期累計期間（2018年4月1日～2018年12月31日）におきまして、下記のとおり固定資産の減損損失を特別損失として計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	2,500	2,500	1,740	61.49
今回修正予想(B)	26,800	3,280	3,270	1,770	62.55
増減額(B-A)	1,800	780	770	30	
増減率(%)	7.2	31.2	30.8	1.7	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	25,383	2,453	2,474	1,725	60.99

修正の理由

当期の業績予想につきましては、プリントシール事業のプレイ回数、コンテンツ・メディア事業のピクトリンク有料会員数、キャラクタ・マーチャндаイジング事業の受注が好調に推移したこと、株式会社コアエッジの連結子会社化などの影響により、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みです。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

2019年3月期第3四半期累計期間において、当社が保有するゲーム事業に係る資産について、「固定資産の減損に関する会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、減損の兆候が認められたため、減損損失として特別損失に592百万円を計上いたしました。他の既に計上している減損損失を含めた2019年3月期第3四半期累計期間の減損損失額は、652百万円となります。減損の兆候が認められた資産は、主に当社が運営するゲームアプリを原作としたアニメ製作費用を固定資産勘定にて計上していたものであり、その全てを減損損失として計上しております。なお、本件は本日公表の「2019年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)」および、今回修正予想に反映しております。

以上